

平成28年度施策評価調書

整理番号	10
評価担当課	市民部 環境生活課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	良好な環境づくり(3-1-2)		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	主要施策	1	環境と共生

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	自然環境と調和した景観をつくり、快適でやすらぎのある環境空間となるような霊園、墓地や火葬場の整備を進めます。市民の保健衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上に資する公衆浴場の経営を支援します。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	快適で衛生的な市民生活を確保するため、墓地・霊園の維持管理は、必要に応じて草刈り、トイレ清掃、供物処理を行っています。火葬場については、計画的な修繕・維持管理に努めています。公衆浴場については、経営の安定のため必要な補助を行っています。
施策の課題	となみが丘霊園については、傾斜地に整備されており、使用開始から40年以上経過しており、地盤の検証を行いながら整備を進めていく必要があります。火葬場については、建設から25年以上経過しており、計画的な修繕・維持管理が必要です。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(年度)
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	となみが丘霊園の整備については、毎年検証を行い必要な整備を行っています。火葬場については、年次計画により必要な修繕・維持管理を行っています。公衆浴場については、市民の利用機会を確保するため、必要な補助を行っております。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

故人を偲ぶ霊園・墓地は、やすらぎのある場となる環境づくりに努め、火葬場などの施設管理を計画的に行い、施設の適正な運営に努めます。また、公衆浴場については市民福祉の向上に資する施設として、補助をしてまいります。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	墓地・霊園管理運営事業	良好な環境とやすらぎのある墓地・霊園管理と整備を行います。	10,601	a	a	a	a	a	A	A	A
2	火葬場管理運営事業	火葬場の適切な管理・運営・計画的な修繕を行います。	14,135	a	a	a	a	a	A	A	A
3	公衆浴場確保対策事業	市民の保健衛生上、不可欠である公衆浴場の経営安定と確保のため、補助を行います。	2,560	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

--

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	10	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	環境生活課環境・生活安全係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	墓地・霊園管理運営事業			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	1	環境との共生
		基本事業	2	良好な環境づくり
		実施計画事業	1	霊園・墓地整備

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	快適で衛生的な市民生活を確保するため。					
対象(何を又は誰を)	市民・市外住民。					
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	霊園・墓地の管理・施設整備を計画的に行います。					
意図(どのような成果を期待しているか)	快適でやすらぎのある環境空間となるように努めています。					
事業実施主体	名寄市					
事業実施方法	<input checked="" type="radio"/> 直営	<input type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助等	<input type="radio"/> 請負	<input type="radio"/> その他(負担金)
事業実施期間	始期	M38 年度	終期設定	有 (終期	年度)	<input checked="" type="radio"/> 無
根拠法令・条例等	名寄市墓地、埋葬等に関する法律施行細則・名寄市墓地条例・名寄市墓地条例施行規則・名寄市霊園条例・名寄市霊園条例施行規則					

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	6,314	4,336	10,601	4,879	
国道支出金					報酬 1,409,200円
地方債					需用費 356,314円
その他					手数料 205,822円
一般財源	6,314	4,336	10,601	4,879	委託料 1,910,213円
人件費	1,069	1,061	1,038	999	使用料及び賃借料 493,166円
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	工事請負費 6,220,800円
担当職員数	0.16	0.16	0.16	0.16	補償補填及び賠償金 4,994円
総事業費	7,383	5,397	11,639	5,878	
対前年比(%)	—	73	216	51	コストの算出方法
事業コスト					
活動指標1					
活動指標2					
活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

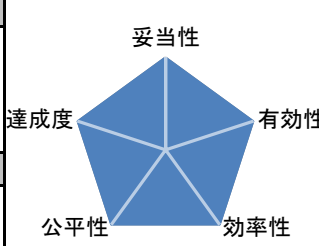
情勢の変化	となみが丘霊園については、使用開始から40年以上経過しているため、適切な整備を進めていく必要があります。
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	故人を偲び、お参りされる方がゆとりとやすらぎのある環境空間を提供しており、社会・市民に寄与する施設です。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	ゆとりとやすらぎのある環境空間を提供するため、施設の管理・整備は必要です。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	墓地・霊園の管理・施設整備であり、必要経費で運営しています。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	墓地・霊園の使用料・管理料を徴収しています。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	墓地・霊園を使用される方がゆとりとやすらぎを感じる墓地・霊園づくりを進めていきます。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	お参りされる方が、ゆとりとやすらぎを感じる空間の提供を今後も行う必要があります。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	10	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	環境生活課環境・生活安全係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	火葬場管理運営事業			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	1	環境との共生
		基本事業	2	良好な環境づくり
		実施計画事業	1	霊園・墓地整備

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	墓地、埋葬等に関する法律に基づき、市民の宗教的感情に配慮し、かつ公衆衛生その他の公共の福祉の見地から火葬場を設置し、管理運営するものです。				
対象(何を又は誰を)	市民及び市外住民				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	利用者が安心して利用でき、衛生面・安全面に配慮した施設の管理運営を行います。				
意図(どのような成果を期待しているか)	利用される方が安心して利用できる施設となるよう運営・整備を行います。				
事業実施主体	名寄市				
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等	請負 その他(負担金)
事業実施期間	始期	H2 年度	終期設定	有 (終期 年度)	無
根拠法令・条例等	名寄市墓地、埋葬等に関する法律施行細則・名寄市墓地条例・名寄市墓地条例施行規則・名寄市霊園条例・名寄市霊園条例施行規則				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 火葬件数		目標					
					実績	362	394	389
	2		目標					
					実績			
	3		目標					
					実績			
成果指標	1		目標					
					実績			
	2		目標					
					実績			

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	13,664	12,943	14,135	13,686	需用費 5,400,029円 役務費 263,505円 委託料 8,419,572円 使用料及び賃貸料 51,481円
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	13,664	12,943	14,135	13,686	
人件費	1,069	1,061	1,038	999	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.16	0.16	0.16	0.16	
総事業費	14,733	14,004	15,173	14,685	
対前年比(%)	—	95	108	97	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

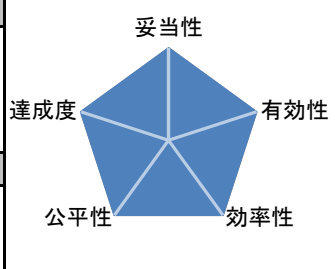
情勢の変化	供用開始から25年以上経過しており、老朽化が進んでいることから、現施設を長期的に使用していくため火葬炉等の計画的な修繕及び保守点検を今後も実施します。
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	公衆衛生上その他公共の福祉の見地から非常に公共性が高い事業です。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	火葬場の衛生面・安全面に配慮した施設運営・修繕のため必要な事業です。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	施設の運営に必要な保守修繕・管理業務であり、適正に運営されている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	市民・市民外で、使用料に差を設けており適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	年次計画に基づいた修繕を行い、利用に支障のない管理・整備をしていきます。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	公共の福祉の見地から、永続的に必要な事業です。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	10	枝番	3
評価担当課・係・職名・氏名	環境生活課環境・生活安全係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	公衆浴場確保対策事業			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	1	環境との共生
		基本事業	2	良好な環境づくり
		実施計画事業	2	施設整備

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	市内唯一の公衆浴場であり、市民の保健衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上に資する公衆浴場の経営の安定化を図り、住民の利用機会を確保する。				
対象(何を又は誰を)	公衆浴場経営者				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	公衆浴場の経営安定確保のため、必要な補助を行います。				
意図(どのような成果を期待しているか)	公衆浴場の経営安定を確保し、住民の利用機会を確保する。				
事業実施主体	名寄市				
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等	請負 <u>その他(負担金)</u>
事業実施期間	始期	H18 年度	終期設定	有 (終期 年度)	<u>無</u>
根拠法令・条例等	名寄市公衆浴場確保対策条例・名寄市公衆浴場設備資金利子補給規則・名寄市公衆浴場確保対策事業費補助金交付要綱・名寄市公衆浴場設備整備事業費補助金交付要綱				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 公衆浴場確保対策事業費補助金	円	目標					
			実績	2,560,000	2,560,000	2,560,000		
	2 公衆浴場設備資金利子補給	円	目標					
実績			116	終了				
3 道の定める1日平均入浴客数 1日平均入浴客数	人	目標	94.2	92.9	87.8	-		
		実績	62.6	62.9	60.8	-		
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	2,561	2,560	2,560	2,700	公衆浴場確保対策事業補助金 2,560
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	2,561	2,560	2,560	2,700	
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数					
総事業費	2,561	2,560	2,560	2,700	
対前年比(%)	-	100	100	105	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	道が定める基準入浴客数の平均に満たず、経営安定のため今後も補助が必要。
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	市民の保健衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上に資する公衆浴場であり、市民ニーズに適合している。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	市内唯一の公衆浴場であり、内風呂を有しない市民のため、また市民の保健衛生及び健康増進のため利用機会を確保するため、経営の安定は必要であり、有効。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	経営安定に必要な範囲で補助を行っています。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	市民の保健衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上に資する事業であり、事業の目的から適正といえる。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	市内唯一の公衆浴場として、市民に利用されています。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	市民の保健衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上、また内風呂を有しない市民のために必要な事業です。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり